



樹 幼 だ よ り

「明るく 正しく 仲良く のびのびと」



—明照学園（認）樹徳幼稚園—

令和2年6月12日（第4号）



東海地方に続き、関東地方も梅雨に入りました



通常保育が始まって早2週間。今週前半は真夏日が続いていましたが昨日（11日）西日本より1日遅れで、関東・甲信地方、東北南部が梅雨入りとなりました。昨日からの雨に打たれて、園の坪山のアジサイが一層鮮やかに見えます。

「あぢさゐは すべて残像 ではないか」、山口優夢の雨を受けて咲くアジサイを描写した句である。降りしきる雨の中、かすむ視界に浮かぶ花は残像でしかなく、手で触れようとしても本当はそこに何もないのではないか。夏への橋渡しをする花の、かくもせつない咲き方を五七五に閉じ込めたものだろう。今年、日本列島の東西でほぼ同時にアジサイの季節を迎えることができるらしい。昨年（令和元年）は、初夏の清らかな空気の中で迎え、気がつけばアジサイが雨に濡れていた。それに比べると今年は、3月からの3ヶ月ほどが信じがたく思える。本当にあったことなのかと。東京アラートも解除され、全国的に感染者も減り、あの医療崩壊の迫った日々が残像になりかけている。東京はまだまだ。

—読売新聞、6. 10 編集手帳より—

しかし、梅雨入りとともに、新型コロナウイルスの感染防止策で、新たな課題も生まれています。蒸し暑さでのマスクの着用、教室の窓やドアを開けっ放しにもできず換気が悪いなど、コロナとともに熱中症への警戒等にも気を配って生活していかなければなりません。子どもたちの健康状況をよく把握し、新しい生活様式を徹底しての園生活を心がけていきたいと思ひます。ご家庭においても、登園前の健康観察（検温等）をよろしくお願ひいたします。



新しいお友だちが2人増えました —よろしくお願ひします—

紹介が遅くなってしまいましたが、年少もも組に5月1日より野口 弥央（みお）ちゃんが仲間入りしました。弥央ちゃんは5月は週2回の登園でしたが、6月からは毎日登園しています。色々知っていて、もも組にもすっかりとけ込み、お友だちにも積極的に話しかけるなど、楽しい園生活を過ごしています。もも組の友だちやさくら組、たけ組のお兄さんお姉さんもいっぱい一緒に遊んでください。

もう1名は、すみれ組（満3歳児）に仲間入りした徳永 莉子（りこ）ちゃんです。東京より母親の出産で、5月の連休前より境野町へ里帰りしていましたが、5月12日から仮入園をして、18日から入園となりました。すっかり幼稚園がお気に入り、明るく元気にみんなと仲良く過ごしています。2～3ヶ月の在園になるかと思ひますが、すみれ組のみなさんと楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思ひます。弥央ちゃん、莉子ちゃんともによろしくお願ひします。

じゃがいも掘りを実施します

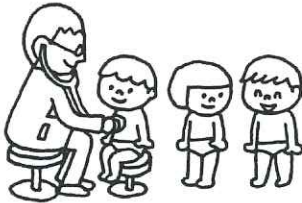
来週の16日（火）に、園の畑で育てたじゃがいもを、各クラスごとに全園児が手で掘り出します。今年の実りは確認していませんが、きっと豊作だと思います。ご家庭に持ち帰れるほど収穫できることを祈っています。当日は、長靴・体操ズボン（白い長ズボン）・遊び着（スモッグ）の用意をお願いします。雨等で実施できない場合は順延となります。



（6月は食育月間）

お 知 ら せ

1 内科検診について



4月30日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための登園自粛中でできませんでしたが、6月16日（火）に実施することになりました。当日は、全園児を対象に13時から行われます。みらい子どもクリニックの金子先生にお腹や背中、舌の状況等よく診ていただきます。体をきれいにしてお見いただけるよう、ご家庭のご協力よろしくお願ひします。先生にお知らせする必要がある場合は、担任まで連絡してください。結果については、心配されることがある場合は、後日ご家庭へお知らせします。

なお歯科検診については、6月中に実施できるように、藤田先生（ア歯科藤田診療所）と調整しておりますので、決まりましたらお知らせします。

2 替え着について

梅雨入りし、蒸し暑い中でも子どもたちは元気に遊んでいます。汗をたくさんかき、保育中でも着替えをしなければならぬ事もしばしばです。本日、お着替え袋を持ち帰りますので、中身を確認しこの時期にあった衣類に交換してください。少し多めにご用意いただけるとありがたいです。お手数ですが、ひとつひとつに必ず名前を記入して、次の登園日には持参してください。よろしくお願ひいたします。



◎ 4月・5月と登園自粛で会えなかった子どもたちですが、心身ともに成長した姿に先生方とビックリしています。言葉（語彙）が増え、表情が豊かになって頼もしく感じます。これから夏休みまでの2ヶ月の成長を思うと、大きな責任を実感し緊張します。

行事ごとに成長する子どもたち。今は制約されていますが、コロナの終息を願うとともに、あせらず少しずつですが、教職員一同頑張りたいと思ひます。